

産婦人科研修カリキュラム

研修目標

1. 一般目標

女性特有の疾患による救急医療を研修する

切迫流・早産、子宮外妊娠、卵巣腫瘍茎捻転などの女性特有で緊急性の高い疾患の病態の理解、鑑別、初期治療について研修を行う。

女性特有のプライマリケアを研修する

思春期、性成熟期、更年期の肉体的、精神的変化は女性特有のものである。女性の加齢と性周期に伴うホルモン環境の変化を理解するとともに、それらの失調に起因する諸々の疾患に関する系統的診断と治療を研修する。これら女性特有の疾患を有する患者を全人的に理解し対応する態度を学ぶ。

妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基礎知識を研修する

妊娠分娩と産褥期の管理、ならびに新生児の医療に必要な基礎知識とともに、育児に必要な母性とその育成を学ぶ。また妊産褥婦に対する投薬の問題、治療や検査をする上での制限などについての特殊性を理解する。

2. 行動目標

経験すべき診察法・検査・手技

問診および病歴の記載、産婦人科診察法

婦人科内分泌検査、不妊検査、妊娠の診断、感染症検査、細胞診・病理組織検査、内視鏡的検査、超音波検査、放射線学的検査

処方箋の発行、注射の施行、副作用の評価ならびに対応

経験すべき症状・病態・疾患

腹痛、不正性器出血、急性腹症、流・早産および正常産

研修方略

I. 研修スケジュール

信州大学医学部附属病院あるいは松本市立病院産婦人科で原則1ヶ月の研修を行う。

研修評価

研修評価は、研修修了時（～その1ヵ月以内）担当指導医が、EPOC-オンライン評価システムにて評価する。最終評価は、まつもと医療センター病院群臨床研修管理委員会でその委員会規定に基づいて行う。